

2007年度 第2回 京大本番レベル模試 理系

国語 採点基準

東進コンテンツ本部 教務部 国語科

《採点者の皆様へ》

- 1 誤りを容認する必要はありませんが、できる限り受験生の気持ちを汲み取った採点をお願いいたします。
- 2 採点にあたって、必ず各問題の全容を掌握しておいてください。

《表記上のルール》

全問共通のルールです。例外がある場合は、各問の基準で示してありますので、そちらに従ってください。

枠内の二行書きや解答欄をはみ出したものは不可、0点とする。

解答欄外に書かれた内容は採点の対象外とする。

文章が途中で終わってしまっている解答は不可、0点。

誤字・脱字はきちんと見てください。一つにつき、1点減点とします。

送り仮名については、「現れる／現われる」「行つ／行なう」のように表記の仕方が複数あるものに関しては許容とします。

同一文字の誤りについては、減点は初出の一回のみ。二回目以降は減点をせず、誤りのチェックだけ入れてください。

記述問題における文末の句点(。)()のつけ忘れは、1点減点。

(ただし、古文の口語訳では句点がなくても不問、減点なし。)

については、減点理由を簡単に書き添えてください(「句点なし」など)。

文末表現の不備も、1点減点とします。

採点答案は、点数合計に間違いがないかどうかを、こちらでチェックいたします。

部分点は、減点、加点がわかるように記入してください。

二() 現代文() 40点

問一 A 4点

自分たちの貧しい家の寝室の窓から向かいの金持ちの楽しそうな家を眺め、現実のみす

ぼろしさからくる挫折感ゆえに、もっと素晴らしい世界に憧れを抱いて青い鳥を捜しに行

B 4点

く主人公の姿は、他者との関係の中で自己中心性を貫くことに挫折し、現実では生き延び

ることができない自己中心性の可能性を幻想的に実現しようとする試みをもつというロマ

C 2点

ンの世界 そのものであるから。 () 10点

ポイントは以下3つ A 4点 B 4点 C 2点。

A 『青い鳥』を求める主人公たちの心情』の説明

例「幸せは自分の家には無いが、他人の家にはある」とする、自分と他人との比較。「自
分の家・他人の家の比較」を具体的にせず、「よりよい環境を求めて」と簡略化した

解答は、Bの「対抗関係において生じる」という点と齟齬が生まれるので、0点。

B 「ロマン的世界のありよう」の言い換え

例「現実世界との対抗関係において生じる幻想世界」などの本文を利用して良い。

C 「象徴する」の言い換え

例「そのものである」「一致する」など。「構造が似ているから」「目的を同じくするか
ら」などの言い換えでも許容。

AとBの共通点を明確にし、「新しい欲望の可能性を見出す」などと示されていれば
解答として質が高い。

問一 A 4点

地球が太陽をまわるのではなく太陽の方が地球の周りを巡っているのだと考える天動説

B 4点 C 2点

のように、想像の世界の中では、全てを自分を中心に考え、本来ならば現実世界で生き延び

ることができない自己中心性を、挫折させることなく貫くことができること(10点)

ポイントは以下3つ A 4点 B 4点 C 2点

A 「天動説」の意味説明

例「他の天体すべてが地球の周りをまわる、地球中心説」など。「他の天体」ではなく
「太陽」という具体名をもっても良い。

B「天動説」を用いた理由

例「ロマン的世界の自己中心性と、天動説の地球中心性が、自我を貫くことができる
という意味で共通する」など。天動説がロマン的世界と「どのような意味で共通す
るか」が書けていない場合は、0点。

C「夢見ることができる」の表現の説明

例「現実世界では叶うことはないが、空想の中では叶えられる」など。Cの要素は、
Bと言い併せて「現実世界ではなかなか貫くことのできない自己中心性を」という
修飾部で表現していても許容する。

問三

A 2点 B 2点

C 2点

子供がおもちゃや人形を使ったひとり遊びや収集を行うことにより、自分を主人公

D 2点

とする。憧れや魅惑に満ちた独自の世界を作り上げるといふこと。(8点)

「世界の構造をもつ」の、理由を問うのではなく、どのようなことなのか。その説明を求
められていることを理解して、解答が出来ているかをみる。

ポイント以下の4つ A～D各2点

A「誰にとって」「それらが世界の構造を持つか」・・・子供たち

B「構造をもつ」場の説明

例「戦車や人形を用いた、ひとりでの遊びの場」など。「ホビー」「ひとり遊び」とい
う語だけでは減点。「おもちゃ・戦車・人形」など具体的な遊びと組み合わせること。

C「なぜその遊びが意味をなすのか」「簡単な理由づけ

例「他の誰でもない、自分を中心とした」など。「絵を描くことで世界を書き上げる」
など、具体的ではあるが、ひとつの例のみにとどまるようなく、独自の世界を作る
という表現が弱いものに関しては0点。

D「世界の構造をもつ」の言い換え

例「自分の空想の世界を作り上げる」など。Dにはさまざまな表現があると思うが、「ロ
マン的世界を作りあげる」「より」「新しい世界を創造する」「自分中心の世界を生み
出す」などの表現の方が良い。

問四

A 3点

B 3点

子供たちが「物語」を読むことによりロマン的世界を作り上げるのは、挫折を味わった現

実からの逃避ではあるが、それこそが動物と人間とを分け隔てるロマンティシズムやセンシ

C 3点

D 3点

メンタリズムといった情緒を、人間の感情として獲得してゆくための大切な営みなのだとい

ういふ。(12点)

ポイントは以下4つ A～D各3点。

A「ロマン的世界の成立」の役割説明

例「ロマン的世界の成立は、確かにナルチシズムから出たひとつの現実逃避には
かならないが、実は」など。解答例では、否定的側面が肯定的要素を持つ事を
強調しているが、単に前段落とのつながりをもった「現実からの逃避であった
ロマン的世界の成立は、…基礎の役割を担う」などとされていても許容する。

B「人間的情绪」の言い換え

例「快・不快によって生を生きる動物との違い」など。BとCでは「動物」「人間」
の両面からの解答を必要とする。片方を打ち消すだけの解答は減点とする。

C「人間的情绪」の言い換え

例「動物とは違った様々な人間らしい感情」など。

D「土台をなす」の言い換え

例「人間として生活していく中での礎となる」など。Dは「きっかけを作る」「基
礎となる」「中核をなす」などでも可。

③(現代文)(30点)

問一 (ア) 際限 (イ) 追跡 (ウ) ふそん (エ) 融和

(オ) まぬか(まぬが) (各2点×5・止めハネ払いは許容 部分点無し。)

問二 光によって無限に変化する色目の微妙な差異を 言葉でとらえていすいち細分する

ことは不可能だから。【4点】

ポイントは2つ、 2点、 2点。

色とはどのようなものか

・絶対不変の固有のものではない」「移りやすく、はかない」「無限の差異がある」など、無限に移りかわるものであることをおさえていけばよい。

色名で区分するのはきりがない

・不可能だ」「無意味だ」などの表現も許容。

・単なる「区分」ではなく、言葉でとらえる」「名づける」「色名を附す」など、言語を用いての区分であることを明示していなければ1点減点。

問三

色彩感覚のよしあしを言つのは 無作為の自然にこそ色彩の妙があることを述べ、

言葉による概念操作という人為に頼らうとする人間の空しい試みであるといふこと。

【8点】

ポイントは3つ、 2点、 3点、 3点。

色彩感覚のよしあしが生れる」とは

・配色のよしあしを言つ」「合う色合わない色を定めようとする」「言葉の概念を用いて色のよしあしを語る」など分かりやすい表現になっていけばよい。

色彩の妙の本来のなめり方にそぐわぬこと

・無作為の中にあらわれているはずの色彩の妙を」「自然の色彩には概念など存在しないの」「本来の色彩は自然の中にあるのままに融和しているのに」「など、色彩というものが、概念でとらえるのにそぐわぬ性質のものであることをおさえていけばよい。」「自然を真似たところに生じるのが色彩の妙である」などというのは本来的な説明とは言えないので1点減点。

概念操作に頼ってしまう人間の不幸……哀れむ

・科学に頼る」「人工的な知恵を重んじる」など、人間の性として陥ってしまう不幸であるといふ点をおさえていければよい。)(概念操作する)と=不幸(ではなご。)

の内容が押さえられている場合です。

本来… …であるのに、人間は… …するようになった。

人間は本来… …であるのを… …するようになった。

等の文構造で、どのような点に「悲しさ哀れさ」があるのかが明確でないもの（傍線部中の「という」のイコール関係が明瞭に説明されていないもの）は2点減点。（ただし、の要素が欠けていて2点以上減点がある場合は、さらなる減点はしない。）

問四

西洋の色彩感覚は、概念として言葉でとらえた色を科学的に配合しようとするが、日本の色彩感覚は、自然の色彩の妙を真似て人間の文化の中にもそれを実現しようとする。【80点】

ポイントは2つ、4点 4点

西洋の色彩感覚

・色の把握・配合・評価を「言葉の概念」「人工的な作為」「科学」によって行おうとする、という内容であれば。「言葉」「人工」「科学」といった要素の欠けている、「人間が色彩をつくる」「自らの手で色をつくる」等あいまいな説明は2点減点。
・「自ら神になろうとする」「神をのつとる」などの比喩的な表現だけで説明したものは3点減点。

日本の色彩感覚

・「自然（の色彩）を真似る」ことで色彩の妙を実現しようとする、という内容が書けていればよい。「自然をもとにした」「自然の色彩に基づいて」などのあいまいな説明は1点減点。

・「人為的な科学に頼らない」など、の否定の形のみ説明は3点減点。
・「神に返す」などの比喩的な表現だけで説明したものは3点減点。

その他、本文の内容を明らかに取り違えた記述がある場合は適宜1点ずつ減点。

問一 **三** (古文)(300点)

(1) 清輔は、歌道における物知りであるけれど、この歌合わせの判定については、期待はずれに思われる。【5点】

ポイントは、各1点

- ・ 「名人である」「名手である」「秀でている」等、歌に精通していることが示されておれば許容。
- ・ 「**此の事**」だけでは×。「**歌合わせの判定**」という説明が最低限。解答スペース内でより詳しく説明したものは、本文の内容と矛盾していない限りすべて許容。
- ・ 「**心劣り**」は、「**不満**」「**残念**」「**失墮**」「**がっかり**」「**良くない**」等、否定的な見解を表す心情表現であれば許容。
- ・ 「**らるる**」が**自発の助動詞**であることが明示されていなくても減点の対象とはしなくてよいが、明らかに「可能・尊敬・受身」ととって解釈してしまっている場合は、1点減点。

(2) 古い歌集の中の歌であるからといって、すべて素晴らしいとお思になるべきではない。【5点】

ポイントは、1点 = 2点 = 2点

- ・ 「とて」を、くだからといって」といふように言葉を補っていない場合は減点。
- ・ 「めでたし」「すばらしい」という古語の意味を明示してあるかどうか。
- ・ 「**思す**」が尊敬語として訳出されていなければ1点減点。
 - 「へからす」「のへし」「は、当然」「がベストだが、」ならぬ方がよい」「は許されない」「～としてはならない」「等も許容。

(3) 時代の風潮が異なるからなのである。【5点】

ポイントは、3点 = 2点

- ・ 「**時の風**」の言い換えは、「時流」「その時代の流行」「時代の潮流」等の同義語も許容。「時代背景」「風」の語義があいまいなものは1点減点。「風の」「の」の主格で正確に訳出されていなければ、1点減点。「～とは」「等」。
- ・ 「**故なり**」について「～からである」「～ためだ」等、「故」の語義と断定の「な

り「それぞれ1点で。

(4) 格別に 優れている歌 ではないのだから 【5点】

ポイント は 2点 = 1点 = 2点

・ 「おぼろげの」は、「特別に」「並一通りではなく」「等」「おぼろげならず」と同義であることが分かるように訳出してあげばすべて許容。

・ 「秀逸」については、「歌」「作品」「詠みつぶり」等、歌がすぐれている、という点が明示されていなければ、1点減点。

・ 「にあらざれば」は、「已然形 + ば」で順接確定条件で訳出されていなければ×。

問二

「床寝」という語がまずいとした清輔朝臣の判定を、勅撰集である『後撰集』に、「夜床寝」という言葉を用いた歌が存在することを根拠にして、間違った非難だと「ある人」が思っていることごと。【10点】

解説に図示した構図どおりに捕らえており、一読して意味が通る答案であれば、きるだけ点を与える。

ポイントは、 3点、 3点、 2点、 2点。

「僻難と思入る」の対象明示。清輔の判定であることが示されてあげば2点を与える。

更にその判定内容で、「床寝」という語を清輔が非難した点に言及してあげば+1点。

「後撰の威を借りて」の意味。と連動させ「夜床寝」(「床寝」でも許容)を用いた歌の存在に言及していなければ、2点減点。

「僻難」の意味。「僻」は、「間違った」以外に、「誤った」「おかしい」「とんでもない」等、否定的な語であればよしとする。

「思入る」の主語。

傍線部直後の「よくこの道に暗きなり」までを含めて解答していても減点の対象とはしない。あくまで傍線部の説明の可否をみる。